

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成22年1月21日(2010.1.21)

【公開番号】特開2009-202084(P2009-202084A)

【公開日】平成21年9月10日(2009.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2009-036

【出願番号】特願2008-45818(P2008-45818)

【国際特許分類】

B 0 1 J 23/28 (2006.01)

B 0 1 D 53/94 (2006.01)

B 0 1 D 53/86 (2006.01)

B 0 1 J 27/199 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 23/28 A

B 0 1 D 53/36 1 0 2 C

B 0 1 D 53/36 Z A B Z

B 0 1 J 27/199 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月27日(2009.11.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アンモニアを還元剤として接触的に排ガス中の窒素酸化物を除去するとともに、ハロゲンを酸化剤として水銀を酸化する排ガス処理触媒において、 $TiO_2$  を担体として、該担体上に V, W 及び Mo からなる群より選ばれる少なくとも 1 種類の酸化物を活性成分として担持し、かつ B i 及び / 又は P を含む化合物からなる群から選ばれる少なくとも 1 種類を助触媒成分として担持して成ることを特徴とする排ガス処理触媒。

【請求項 2】

上記助触媒成分が P を含む化合物から成ることを特徴とする請求項 1 の排ガス処理触媒。

【請求項 3】

上記助触媒成分が B i を含む化合物から成ることを特徴とする請求項 1 の排ガス処理触媒。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記目的を達成するために、本発明に係る排ガス処理触媒は、アンモニアを還元剤として接触的に排ガス中の窒素酸化物を除去するとともに、ハロゲンを酸化剤として水銀を酸化する排ガス処理触媒において、 $TiO_2$  を担体として、該担体上に V, W 及び Mo からなる群より選ばれる少なくとも 1 種類の酸化物を活性成分として担持し、かつ B i 及び / 又は P を含む化合物からなる群から選ばれる少なくとも 1 種類を助触媒成分として担持し

て成ることを特徴とする。水銀酸化剤のハロゲンは、 $\text{HCl}$  の他  $\text{NH}_4\text{Cl}$  などの塩素 ( $\text{Cl}$ ) を含む化合物、あるいは臭素 ( $\text{Br}$ ) を含む化合物が好適である。